

# 静岡教区報

第631号

発行所

天理教静岡教務支庁  
〒425-0013  
焼津市岡当目1番地  
TEL (054) 626-1333  
FAX (054) 628-4615  
Email:skyou@live.jp

教区報は、下のQRコードより、スマートフォン等で、ご覧頂けます。



## 「全教一斉ひのきしんデー」提唱90年 教区長全支部巡回 にぎやかにつとめ「勇み」と「喜び」を頂こう！

本年提唱九十年を迎える「全教一斉ひのきしんデー」の実をあげるべく鈴木道輝教区長は、昨年十二月の駿豆支部を皮切りに、管内十一支部への巡回を行っている。二月二日には静岡大教会で行われた中駿東支部例会に巡回され、ひのきしんデーの意義、おぢばの思いを丁寧に話され、さらなる積極的な取り組みを促された。

今のコロナ禍になりましてから、早二年が経過しようとしています。私たち、道の教会長という立場で責任、役割を担う者からするならば、この二年間は、大変難しい舵取りを迫られた。そうした二年間であると改めて思います。教会の月次祭、



この月はどうかやっつけとめさせていただけようとか、信者さんの丹精講社祭、行つていいものかどうなのか。おぢばがえり、どうさせてもらおうか。いろいろな判断、難しい舵取りを迫られる日々であった二年間だと思えます。皆様方には、いろんな場面で大変、ご苦心、ご苦労なされたこと、こと改めてお労い申し上げたいのです。この舵取りで言うならば、一番大事なのは目的を間違えない、目

的地を見失わずに進んでいくことだと思えます。勿論通った道というものは、それぞれ違う道なのかもしれません。が、しかし、お道を通るお互いなのですから、その行き先、目的地と、この月は一緒でありませぬ。おぢば目標にこの道を歩むお互いでありませぬ。教祖目標に進ませてください。お互いであるということ。目的地を間違えずに、難しい舵取りであります。進ませてください。忘れたら、私たちが、忘れてはいけないことだと改めて思わせていただくところでもあります。さて、最初にご紹介したきましたように、本日は、本年、全教一斉ひのきしんデーが提唱から九十年を迎えま

す。同じく、九月にありませぬ全教一斉にをいげけデーも同じであります。九十年という節目を迎えることになるわけ、そのお願いに今日は来させていただいた次第であります。申すまでもなく、本年の全教一斉ひのきしんデー、四月二十九日に行われます。毎年行われるこのひのきしんデー、どういう意義があるのか、言うならば、やはり「ひのきしん」という教への実行、信仰実践、これをつとめさせていただくということ、さらにはその中にひのきしんの喜びというものを味わわせていただく、それを勇みとさせていいただく、いろんな意義というものが思い浮かぶわけではあります。一方、このひのきしんというのは、何も日にちを決めてやるものではないです。ね。いつだって出来ません。なにも四月二十九日じゃなく、翌日の三

十日でもいいわけですが、なんなら今からでも出来るのが、これひのきしんです。場所だつてどこだっていいのです。何も決まった場所じゃなくたって、家を出てすぐのところであるうが、出かけ先のだんななどところであらうが、どこでもいいのであります。又、大勢人が集まらずとも、一人でも出来るのが、これひのきしんです。だから、ひのきしんと言うのは、そもそもいつでも、どこでも、一人だつて出来るのがひのきしんです。そのひのきしんを、この日に、この場所だつてつとめるのが全教一斉ひのきしんデーです。私、この全教一斉ひのきしんデーの一番の意義というか目的と言うのは、大勢の人が集まって、賑やかにつとめる。ここにつきると思いません。じゃなかつたら、日にちを決める必要はないので



すから。場所を決める必要もないのですから。大勢の方が集まって賑やかにつとめさせていただく。そこには必ず勇みがついてくる。喜びがついてくるものだ」と私は信じます。

以前、自分の所のひのきしんデーに参加させていただいた時のことです。草を引いていました。そして、少し離れたところで、男性がひのきしんをさしていた。チラチラ目が合うのです。この人、どこかで会ったかな、どこの人だったかな、

と、考えながらひのきしんをしていました。休憩時間になり、その人の所に行つて話をさせてもらった。「すいません、どちら様でしたか？忘れてしまいました。」と、声を掛けましたら、彼は言いませんでした。僕の小学校の時の同級生だったので、知らなかったです。彼が、お道の信仰が、その家にあるということ。小学校の頃にそんな話なんて一言もしたことなかったです。彼の方は私が天理教の教会だということとは勿論知っています。でも、

そんな話、当時は一言も出なかったです。「なんだお前、天理教信仰していたのか。なんであの時言わなかった？」と言ったら「言う必要ないじゃない。そりやそうですよ。言ったら周りからいじられる種にな

るだけです。小学

生が「私は信者家庭ですから」なんて言う必要はない。その通りだなと思いましたが、でもうれしかったですよ。ね。小学校の同級生の彼が、お道の家に生まれていて、そして今も信仰して、さらには家族を連れてひのきしんデーに来てくれている。何ともうれしかったし、大きな勇みになりました。これも、その彼の所に、教会から声がかかったから、地域から声がかかったからやってきましたのだと思います。大勢集まるということには、やはりそういう力があると思います。大勢集まることによつて、どんな喜びが現われるかわからない。どんな勇みが現われるかわからない。私は、このひのきしんデーとは、そういう所に大きな意味合いがあるのかなと思わせていただくのです。ところが、現状と

大勢の方に集まっていたいて、賑やかに、これを何とも進めにくい。又、言い出しにくい今であります。ですから、おちばから聞かせていただく話は、本年の全教一斉ひのきしんデー、もちろん地域によつて、いろいろ差はあるかもしれないけれども、大勢で賑やかにつとめていただきたいのはやまやまですが、それが叶わない、じゃあ、それは仕方ないで終わるのではなしに、大勢の人に集まつてもらおうと思うには、まず、大勢の人に声をかけさせてもらう。このことなしには当然出来ないことです。この声をかけるということは、今のコロナ禍にあつても、充分出来ることなのだから、本年のひのきしんデー、まずはその日を目指して大勢の人にひのきしんデーの声を掛けてもらいたい。このようなこと

をおちばから聞かせていただいているのです。今、私は大勢の人に声を掛けると言いますが、正確に言いますと、おちばから聞かせていただくのは、すべてのようばくに、このひのきしんデーのいのを掛けてもらいたい。すべての信者さん方に、この全教一斉ひのきしんデーの声を掛けてもらいたい。これが、おちばから聞かせていただいているおちばの声であります。すべてのようばくに、すべての信者さんにとりまして、この支部内に住むすべてのようばく、すべての支部内の教会長さん方が、しっかりと声をかけさせていただくというのがまずひとつ、そして、教会長という立場の上からいうならば、教会につながるようばく、信者さんがいるわけでありませぬ。その人達の中には何も、

この支部内にいらつしやらない方もいる。静岡教区管内にいらつしやらない他のところに住まう方もいらつしやるわけあります。全てに声をかけるといふことは、そういう人たちにも、漏れ落ちることなく、ひのきしんデーの声を掛けさせていただく。にをいを掛けさせていただくということ。これが、おちばから聞かせていただいていることでもあります。どうか、お集まりの教会長の皆様方には、その点を心に置いて、一人残らず、この提唱九十年となりまして、本年のひのきしんデーのにをいをかけてもらいたい。これが、今日、お願いしたい一番の事なのであります。声をかける、にをいをかけるというのは、いわば、種まきだと思います。このコロナの二年間というのをふり返るなら、この、種まきが、声掛けが、にを

いを掛けるということ  
が、圧倒的に不足して  
いた2年間であるな。  
これを遅らせていた2  
年間であるなというの  
が私自身の反省であり  
ます。教えられた通り  
のことを申せば、種を  
まかなければ、生える  
はずはないのです。種  
を蒔いたからといって、  
願い通りに四月二十九

### 真柱様お言葉

私は、道を進展  
させるためには、  
いろいろな意味に  
おいて、教祖の年  
祭を勤めることは  
大切なことである  
と思っております。  
次の百四十年祭は  
勤めさせていただ  
きたいと思ってい  
るのであります。

一月四日

年頭あいさつより

日に間に合うように芽  
が出て花が咲くのか、  
それはわかりません。  
しかし、今種を蒔かな  
いことには、何も始ま  
らないわけでありませ  
う。さらに申せば、本  
年は、おそらく、この  
十月に、教祖百四十年  
祭に向かっ  
て真柱様からの諭達が  
ご発布いただくこと  
になります。そういうこ

### 視点

#### じっくり思索して 備える年に

#### 備える年に

世界がコロナ下の状況に  
なつて3年目に入った。日  
本では、昨年から感染状  
況が収まりを見せ始め社会  
に明るさが戻っていたが、  
年明けとともに新たな変異  
株が急速に拡大したことで、  
社会に再び不安が広がって  
いる。筆者も今年を「再起  
の年に」という希望を持っ  
て迎えただけに戸惑いを隠  
せない。

そんななか、去る1月4  
日、教会本部において真柱

とでいうと、来年はい  
よいよ教祖百四十年祭  
に向かう年祭活動がス  
タートする。そんなこ  
とを合わせて考えます  
と、この種まきは決し  
て無駄にはならないと  
思います。ひのきしん  
デーには間に合わずと  
も、にをいがけデーに  
は間に合わずとも、教  
祖年祭の時には、きつ

と素晴らしい実がなり、  
素晴らしい花が咲く。  
そういう種まきを今、  
させていただくのだ。  
こんな状況ではあるけ  
れども、種まきは出来  
るじゃないか。という  
のがおちばの声なので  
ありますから、私たち  
立場のあるものとして、  
しっかりと責任を持つ  
て、この種まきを進め

させていたただきたいと  
思うのです。  
どうか、今年の四月  
二十九日、私は今、感  
染のピークだと思いま  
すが、四月二十九日に  
はだいぶ下の方まで下  
がっていると思います。  
たちができることは、  
しっかりと声を掛けさ  
せていただくこと。種

を蒔かせていただくとい  
うこと。にをいをか  
けさせていただくとい  
うこと。ここでありま  
すので、支部長さん  
を芯に一手一つに進めて  
いただきますこと、お  
願い致します。

#### 備える年に

はその年祭を目指しての三  
年千日の動きに入っていく  
こと、いまの時句を考え、  
それぞれのつとめを果たし  
てもらいたいという旨をお  
示しいただいた。

個人的な感想であるが、  
いまだ先行き不透明な状況  
であるだけに、これから全  
教ようぼく・信者が共通し  
て目指すべき新たな目標を  
お示しいただいたことは大  
変心強く、大きな希望を感  
じている。

そこで「三年千日」の意

#### 備える年に

味を少し振り返ってみたい。  
お道で三年千日がいわれ  
るようになったのは、教祖  
5年祭の3年前に示された  
刻限おさしづによる。  
すなわち「難しい事は言  
わん。難しい事をせいとも  
紋型無き事をせいと言わん。  
皆一つ／＼のひながたの道  
がある。ひながたの道を通  
れんというような事ではど  
うもならん。

(中略) 僅か五十年。五十  
年の間の道を、まあ五十年  
三十年も通れと言えはいこ  
まい。二十年も十年も通れ  
と言ふのやない。まあ十年  
の中の三つや。(中略) 僅  
か千日の道を通れと言ふの

(諸井)

#### 備える年に

教祖50年のひながたの道  
道を3年でよいから仕切つ  
て通れば、50年通つたの  
と同様に受け取るのと有り  
難いお言葉である。とかく  
年月を経るごとに心が弛み  
がちになる子供のうえを思っ  
ての親心がうかがえる。

現代にひながたを通ると  
は、どういうことなのか、  
三年千日にどんな心定めで  
臨むのか、じっくり思索し  
て、時句に備える年にした

(諸井)

## 立教185年 全教一斉ひのきしんデー会場

東伊豆	4月29日	9:00	熱海 長浜海浜公園
	4月29日	9:00	伊東 オレンジビーチ
	4月29日	9:00	下田 伊豆つくし学園
伊豆	4月29日	9:30	栄町 共同墓地
	4月29日	9:00	伊豆中央ケアセンター
	4月29日	8:30	戸田造船郷土資料博物館
	4月29日	9:00	西伊豆 松崎海岸
駿豆	4月29日	10:00	沼津 千本浜公園
富士	4月29日	9:30	富士 大淵公園
	5月18日	9:30	富士 旭出学園
東駿	4月29日	9:00	清水区 三保真崎海岸
中駿東	4月29日		ようぼく家庭周辺など個人単位
中駿西	4月29日	9:00	葵区 安倍川・田町親水公園
西駿	4月29日	9:00	焼津 浜当目海岸
	4月29日	9:00	焼津 大井川野鳥園・イオン焼津
	4月29日	9:00	藤枝 金比羅山 ほたるの里
	4月29日	8:30	島田 大井川公園
	4月29日	6:00	島田 野守の池公園
	4月29日	9:00	島田 牧之原公園
中遠	4月29日	8:30	御前崎 浜岡福祉会館
	4月29日	8:30	掛川 天竜浜名湖鉄道・桜木駅
	4月29日	8:30	掛川 原谷地域 生涯学習センター
	4月30日	9:00	掛川 特養老人ホーム かけがわ苑
	4月29日	9:00	袋井 久野城址
	4月29日	9:30	磐田 つつじ公園
西遠	4月29日	9:30	浜松 発達医療総合福祉センター友愛のさと
	4月29日	9:00	舞阪 白王稻荷山神社(舞阪町稻荷山公園)
北遠	4月29日	8:30	浜松 サーラグリーンアリーナ